



平成 22年 2月 1日 発行

(社)牛久市シルバー人材センター広報部会

牛久市女化町859-3

電話029-871-1468

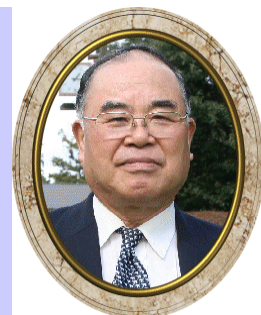
e-mail usiku@sjc.ne.jp

登録会員数：男 419 名 女 131 名 合計 550 名（1月 15 末現在）



新年のご挨拶

理事長 鈴木 伊平



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

さて、牛久市シルバー人材センターを取り巻く情勢について、昨年からを振り返ってみますと、一昨年九月突如として起こった世界同時不況から、いまだ脱しきれず企業収益の低迷、雇用の悪化、更に政府予算の「事業仕分け」で、補助金の予算要求の 1/3 程度の縮減との評価結果が出るなど、大変厳しい状況下にあります。

われわれは、かかる状況を適切に分析・判断し、対処しなければなりません。特に、当センターは茨城県シルバー人材センター連合会に対して、政府の事業仕分けの 1/3 縮減の評価結果を撤回すべく、働きかけるよう要請書を提出しており、また県シ連では全国の連合会と共に、長妻厚労相ほか関係機関に、事業仕分けの見直しの要請書を提出する等活発な活動をしており、それらの結果を注視しなければなりません。

もし、この評価結果どおりに決定されますと、センターは運営上大変危機的状況になることが明らかになり、覚悟をしなければなりません。

新年早々大変暗いものとなりましたが、センターを取り巻く厳しい状況をご理解いただき、これからのセンター運営に一致結束して取り組んでいただくことを願って、私の挨拶といたします。

役員一同ご挨拶

事務局	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	副理事長	理事長
一	岩	池	植	宮	大	茂	菅	青	山	菅	中	馬	武	神	根	正	鈴
	田	井	田	本	川	木	沢	藤	田	井	山	瀬	石	戸	岸	田	木
	勝	一		久	勝	善		次	由		俊	弘	よ	文	幹		伊
同	美	夫	裕	夫	男	次	純	彦	美	正	秀	志	しい	夫	和	品	平



専門部会活動報告

平成22年10月～12月



総務部会

1. ブロック活動について

- ・文書郵便物の配布はブロック長さんの努力により順調に推移しており、次の配布は2月です。
- ・12月10日ブロック長会議にて、自賠責保険、未加入による負担の重さ、最近の話等をシエス保険中山氏より伺う。特にバイク使用の方、保険期限切れ、加入忘れには充分ご注意ください。

2. 新入会員研修について

- ・毎月第二金曜日10時～12時まで開催しております。既会員の方の出席も、お待ち致しております。今年より理事が輪番制で講師を務めます。

事業部会



1. 会員増強計画について

当センターのさらなる発展のため、11月の事業部会で、増強チラシの配布強化を決定しました。

- (1)「広報うしく」の活用 2月1日号に折込み、及び4月の「シルバーだより」全戸版に折込み配布。
- (2)公共施設のパンフ立てに常設設置。市役所・福祉センター・図書館 等。

2. 売店の日曜日営業について

市から依頼のあった福祉センター売店の日曜日営業について部会として次のように決定。

- (1)損益シミュレーションを行い、若干の赤字が出ても福祉センター利用者の利便のため前向きに検討すべき。
- (2)売れ筋商品である、弁当・野菜類の仕入の問題、売店要員のローテーションの問題等課題を解決して、なるべく早期に日曜営業を開始する。上記の部会方針は12月の理事会において承認されました。

安全部会



1. 県シ連による安全就業対策推進委員会開催

茨城県シルバー人材センター連合会安全就業パトロール指導員他4名の訪問を受け安全就業に関する状況及び対策等多角的検討を交え、活発な意見の交換を行いました。

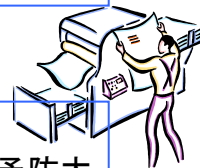
2. 交通安全講習会の実施

12月9日、15日の両日、竜ヶ崎自動車教習所にて自動車の安全講習会を実施しました。

3. 植木剪定・除草班の全員に安全集会

1月21日(木)に安全部会主催で植木剪定班、除草班全員に対する講習会の実施を取り決め、「安全就業」のためのチェックシート(全シ協発行)のパンフを教材に部長が講義します。

広報部会



1. シルバーだより「うしく」秋号の発行

①理事長研修報告記事 ②かっぱつ体操の案内 ③新型インフルエンザ対策記事 ④介護予防大会支援記事等、A4・6ページのシルバーだよりを編集発行しました。

2. 会員募集のためのチラシ配布活動

10月19日(月)、23日(金)の両日、牛久駅前では理事全員が「会員募集」のキャンペーンを行いました。

3. 派遣業務勧誘の説明用チラシ作成

「事業主ご発注者の皆様へ」と題してチラシを作成、アンケートで関心を示した40社の企業を中心にチラシを配布しました。



安全部会だより



「安全・適正就業の徹底と実践」 ～ 事故ゼロへ向けての施策 ～

地震などの自然災害と違って、就業中の事故や途上での交通事故などは、本人の注意次第で防ぐことが可能です。にもかかわらず、牛久市シルバー人材センターでは、平成 21 年度に、信号の無い横断歩道を歩いていた女性をバイクで跳ねるという交通事故を 1 件起こしてしまいました。

1 件ではあるが、深刻な事態に変わりはありません。全国統計によると、就業中の墜落・転落、また 途上の自転車による交通事故が目立つのも最近の傾向です。牛久市シルバー人材センターでは「安全・適正就業強化月間」にちなみ、安全に向けての施策、意識向上などの強化を図って来ました。また、最近特に増えている就業途上の交通事故防止対策については、市役所防災課の講師による自転車交通安全講習会、龍ヶ崎自動車教習場による自動車安全講習会を実施しています。これらの講習会では毎年十数人の会員が指導を受けており、牛久市シルバー人材センター事務局員及び安全部会員は会員の安全・適正就業の一層の実をあげるため様々な形で、事故対策に努力を払っています。



“ 自動車安全講習会 ”

安全部会活動計画の内、恒例の龍ヶ崎安全運転講習会を平成 21 年 12 月 9 日・15 日と平成 22 年 1 月 14 日の 3 回にわたり実施いたしました。この安全講習会には自動車を使用し、仕事に従事する会員（送迎者の運転手、植木剪定班、刈り払い・除草班、襖・障子・網戸班の各職業群から選ばれた会員）が多数参加して行われました。

龍ヶ崎自動車安全運転教習所コースでは実技運転が実施され「方向指示器の出すタイミング」や「走行時停止の位置」「運転者正検検査」等について実地指導を受けました。

事故状況（牛久市シルバー人材センター資料）

（平成21年4月～12月までの状況）

事故の型	事 故 の 内 容	死亡	入院	賠償	H21 年度	H20 年度
剪定・除草作業事故	植木・樹木の剪定作業中転落・事故	0	0	0	0	0
	除草作業中の転落・事故	0	0	0	0	0
	脚立等を使用し清掃等で転落・事故	0	0	1	1	0
交通事故	自動車に追突・衝突される	0	0	0	0	0
	車に跳ねられる、運転を誤る	0	0	1	1	0
	車の接触事故	0	0	1	1	0
機械作業関連事故	巻き込まれ、下敷き・崩壊	0	0	0	0	0
その他	休憩中の事故	0	0	0	0	0
合 計		0	0	3	3	0

事故件数は就業途上事故も含む

公益法人制度改革とは

従来、シルバー人材センターは社団法人という民間非営利部門の**公益法人**としてその役割を果たしてきましたが、今この制度が見直され、新たな公益法人制度が実施されようとしています。

これまではある団体が法人格を得る為には主務官庁の裁量権に基づき公益性を認められたものだけがその資格を得ることが出来ました。

認可 するにおいては法律上の詳細な規定がなく主務官庁の裁量権にゆだねられていたため、主務官庁ごとに判断のばらつきがありましたが、このような不明瞭性を解決するため、**新制度** が検討され、平成13年に検討を開始以来、ようやく平成20年12月に施行されるにいたりました。その骨子は

- ☆ 法人法の要件を満たせば登記のみで一般社団・財団法人を設立することが可能
- ☆ 一般社団・財団法人のうち、認定法に定められた基準を満たしていると認められる法人は公益認定を受けて、公益社団・財団法人となることが出来る
- ☆ **基準** を満たしているかどうかの判断は、民間有識者から構成される国の公益認定等委員会・都道府県の合議制の機関が行う

このような準則主義により法人格が容易に取得でき又明確に定められた基準による公益認定を民間有識者が行うことで民間非営利部門の一段の発展が期待されるようになりました。

平成20年12月以降も幾多の関連規程、手続様式

が整備され、シルバー人材センターとしてはこの平成21年12月にやっと、具体的な申請手続きが実施できる運びとなりました。

この新制度の**特徴** は一般社団法人と公益社団法人がはっきりと分離されたことです。全国各地のシルバー人材センターを含め、従来の公益法人はとりえず特例民法法人としてスタートするわけですが、平成25年11月末日までの5年間の間に、公益社団法人または一般社団法人のいずれかに移行するという選択肢があり、この期間までに移行申請を行わなかった場合、その法人は解散として取り扱われます。

公益社団法人の認定を受けるには相当の申請書類の提出と監査を民間有識者委員会に委ね、委員会の意見に基づいて行政官庁が認定するという手順を踏み、更に認定後は行政庁からの監督・監査を受けるということになります。

しかし公益社団法人の認定を受けた場合は、公益事業を行うことを目的とした非営利団体として特別措置が受けられるようになる。税制上の**優遇** もあり、また補助金も受けやすくなると考えられます。

牛久市シルバー人材センターとしては、手続も登記のみで済む一般社団法人を**選択** するか、あるいは認定も監査も厳しいが特別措置の受けられる公益社団法人を選択するか、今我々は二つの道の岐路に立たされています

うしく・くらし・環境まつりに参加

平成21年12月5日牛久市中央生涯学習センターにて「うしく・くらし・環境まつり」が開催された。燃料電池などのエコカーの展示やエコクッキング等の体験コーナー、フリーマーケット、野菜販売、などが行われた。

シルバー人材センターも竹細工・リサイクル製品などを展示販売し、リサイクルの家具・調度品は完売となった。また子供たちには竹細工やドングリの工作指導が人気を集めた。



中央生涯学習センターにて
リサイクル工房・竹細工の会参加風景

行政刷新会議「事業仕分け」について



既に皆様ご承知のこととは思いますが、新聞テレビなどの報道でも大きく報道されている昨年の11月13日、政府の行政刷新会議において**シルバー人材センター援助事業**が事業仕分けの対象として取り上げられ、出された評価結果は「予算要求に対してその**1/3程度を縮減**する」というシルバー人材センターにとってはその存亡が脅かされるほどの重大な結果が出されました。

これは事業仕分け人がシルバーの置かれている立場・実情をよく理解していないために出された結論で、これに対し、牛久市シルバー人材センターは同月16日に緊急三役会議を開き今後の対応を協議、12月10日の理事会において、シルバー人材センターの現状を理解いただき、評価結果を見直していただくべく、**要請書**を提出することを決議し、茨城県シルバー人材センター連合会へ、理事長名義での要請書を提出致しました。

その内容はシルバー人材センターの福祉と役割から説き起こし、現状、補助金の必要性を訴え、更に、各地のシルバー人材センターの声を結集し、まとめ

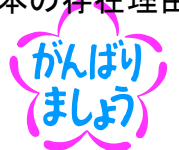
た上で、中央政府へ支援継続の要望書を提出してもらうよう意見を具申したものです。これに対し県シ連は次のような趣旨の要望をまとめ、厚生労働大臣はじめ関係各位へ「**支援要望書**」を提出しました。以下その内容の一部を掲載しますと

○2013年には4人に一人が高齢者となり、2017年には440万人の労働力が不足すると推測、そのような中で、労働力を確保し産業を活性化させていくためには**高齢者の活用**が欠かせない。

○地域のニーズに応え、高齢者の福祉の増進に努め、国及び市町村の高齢社会対策を担って来たシルバー人材センターこそが高齢者の希望と能力を生かし、**多様な働き方**を提供する役割を積極的に果たしていくことができる。

○今後その役割はますます重要なものとなり、時代の要請にこたえるよう、さらに機能を強化していく必要があり、その基盤を揺るがしかねない**補助金の縮減**をする事のないよう強く要望する。

というもので、シルバー人材センターの根本の存在理由を強く訴える内容のものでした。



フォト歳時記

D51型蒸気機関車



通称デコイチと云われる、D51型蒸気機関車は、おもに貨物用機関車として、1,115 輛製造されました。

現在JR東日本保有の動くD51は、たった1 輛ですが、上越線、磐越西線、北上線、陸羽東線、房総線などでイベント列車牽引機関車として活躍しています。

写真は磐越西線「会津冬紀行号」磐梯町駅を発車、1000 分の25の急勾配に挑む雄姿を撮影。
撮影日 2008.2.10

写真・文とも 正田 晶



短歌

ハラハラと散りこぼれたる山茶花の
色彩^{とりどり}々の 冬の陽だまり

白菊の咲き揃いたる小春日よ！

今日は良きこと 何か在るらん

そういえばピラカンサスの好きな娘よ

たわわに実る赤き色愛し

愛されることなく歳を重ねきて

花を愛して風と朽ちゆく

—シャローム・瀬戸—

突然の目まい嘔吐に倒れたり

脳梗塞に壊されし我

入院の生活ながくなりしかば

都となりしわれの病室

—井上梅太—

俳句

車いす 押しくる妻 落ち葉道

わが杖に なりくる妻 寒き庭

—井上梅太—

川柳

新インフ ワクチンなくて 楽に死ね

シリーズで ファンしびれる サヨナラ弾

仕分け人 自民になくて 目を開く

砂漠にも 豪雨の洗礼 明日はなく

ウッズでも 浮気のツケは 痛かった

連立の 数人の党が 振りまわし

—くぼはぜ—

宝くじ 抽選日まで 手を合わせ

鳩急落 小沢頼みの 立て直し

タイガーも やっぱり人の子 色好み

—太平記—

食べるほど 薬貰ひて 安堵する

—井上梅太—

狂歌

師走でも 暖かいのは 良いけれど

何時かお返し 来るのが怖い

裁判員 「むかつくんだ」と 制止され

抽選なんだ 一般社会

日本丸 切って削って 仕分けされ

指針が見えず 座礁するか

こんな刑 少年院 職員 盗みしてから

大人を悟る

これからは やっかいな国 日本なの

中国基地 考慮中

科学でも 一位でなくて 良いという

資源ない国 何で生きてく

民主も 一枚岩に あらずして

解けぬ連立 左右に揺れる

—くぼはぜ—

编者：井上梅太さんは病床よりの投稿で、奥様の代筆による
ものです。 —病みてしも 妻代筆の 句や心—

● 事務局だより ●

新年明けましておめでとうございます。
本年も健康第一で皆さんにとってより良
い年となりますよう事務局一同お祈り申
し上げます。



● お知らせ ●

昨年よりの就業状況をご報告致します。

昨年より新入会員が大変増えておりますが、そ
の反面、就業には大変厳しいものがあります。

市内全域において就業推進の営業活動を行
っておりますが、現状は苦しい状況にあります。

現在の就業先においても、就業人数・時間の
削減・打ち切りが目立っています。

現在未就業の方や打ち切りが決定した会員
の方々は、希望する就業内容だけでなく屋外作
業や体を動かす作業を希望すると早めの就業
が可能となる事がありますので、希望の変更・追
加のある方は事務局までご連絡下さい。